

各種フットボールの誕生
～サッカー、ラグビー・フットボール、アメリカン・フットボール～
The Dawn of various Football
～Soccer, Rugby football, American football～

1K03A183-8 箕浦秀一

指導教員 主査 友添秀則 先生 副査 石井昌幸 先生

1. 本研究の動機

2006 年、サッカー第 18 回ワールドカップドイツ大会。世界中が熱狂に包まれた。現在、サッカーは世界中で最も親しまれている球技のひとつであろう。このようなサッカーはどこでどのように生まれたのか。このことに興味があるというのが、本研究をすすめようとしたもっとも単純な動機である。

フットボールと言っても、いくつもの種類が存在する。わが早稲田大学にもフットボールを意味する蹴球という名のつく体育各部が 3 つある。その 3 つとはア式蹴球部（サッカー）、ラグビー蹴球部（ラグビー・フットボール）、米式蹴球部（アメリカン・フットボール）である。世界中にはもっと多くのフットボールが存在するのであろうが、ここではこの 3 つのフットボールを主に扱う。

私は、中学・高校の 6 年間でラグビー・フットボール（以下「ラグビー」と略す）を、大学の 4 年間でアメリカン・フットボール（以下「アメフト」と略す）をプレーしてきた。この 10 年間、この 2 つのスポーツは確実に私の人格の一部を形成している。こんな大げさなことを言っているが、私はこの 2 つのスポーツのことをあまりにも知らなさ過ぎる。自分を形作っているものが本当はどういうものなのか、それを知りたい。

私は大学院で、ラグビーとアメフトをそれぞれ簡略化したタグラグビーとフラッグフットボールを題材としたよい授業について研究したいと思っている。また、大学院卒業後はこの研究結果をもとに、この 2 つの種目を使った授業を実践していきたい。そんなときに、この 2 つの種目の根底に流れるものを理解していなければ、学習者に本当に深いところまで教えることはできない。大学院での研究、授業での実践などにつなげる意味もあって、フットボールとはいったい何なのかを明らかにしたい。

2. 本研究の目的

サッカー、ラグビー、アメフトの誕生を明らかにすることが本研究の目的である。それぞれまったく違う形ではあるが、同じフットボールである。どのように生まれ、どのように変化し、どのように今の形になったのか。それぞれのフットボール同士の関係を中心に明らかにしていく。

フットボールとは何なのかを明らかにする。世界中の人々をとりこにしてやまないフットボール。その根源を探る。

3. 本研究の方法

本研究は文献購読によって行う。

4. 各章の概要

＜第 1 章＞ フットボールのルーツ

世界で最初のフットボールは、グレートブリテン島で行われたといわれている。その時期は、紀元前であるという説から、中世であるという説まである。

19 世紀までは、いろいろな特徴のフットボールがヨーロッパ各地で行なわれていた。今日において、それらのフットボールは「マス・フットボール」と総称される。

＜第 2 章＞ サッカー、ラグビー・フットボールの誕生

19 世紀、イギリスでは、産業革命により、かつてない社会構造の変化が起こっていた。

イギリス社会が変化していくのと並行して、フットボールもその形を変えていった。この時代にマス・フットボールは、サッカー、ラグビーへと変化していく。このような変化は、イギリスの独特なエリート養成機関、パブリック・スクールで起こった。

＜第 3 章＞ アメリカン・フットボールの誕生

1862 年、アメリカでは、西部開拓時代が幕を開けた。この時代のなかで、アメリカ人は新しく「フロンティア精神」という新しい国民性を手に入れた。また、この頃のアメリカは、まさに「適者生存」の国であった。

このように、アメリカ人は、イギリスとは違う風土や国民性を持ち、フットボールをまったく違う形に変化させた。

＜結章＞

イギリスにおいても、アメリカにおいても、フットボールの変化は、その当時の社会の変化を追従している。それは、フットボールに限ったことではなく、その当時のスポーツ全般においてもいえることである。各種スポーツの誕生というものを調べることは、その当時の時代背景、社会、人びとの生活、思想等といったものを調べることといっても過言ではない。

本当の意味でスポーツが「文化」へと進歩するためには、スポーツの歴史の教育が、もう一度見直されるべきである。